

〔 競技注意事項 〕

1. 本大会は 2020 年度日本陸上競技連盟規則ならびに本大会要項によって行う。なお、スタートに関しては国内ルールを適用する。本大会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考えたの競技会のため、通常とは運営方法が異なるので、しっかりと確認をすること。

2. 学校受付について

各校引率顧問は、2 日間とも競技開始 30 分前までに受付をすませておく。顧問の受付がない場合は選手の大会参加は認められない。学校受付時に①「新型コロナウイルス感染症防止策(遵守すべき事項)」、②「出場選手一覧」を提出する(当日出場者にマーカーを引く)。また、1 年生の心臓健診を未実施の学校は③「学年別大会出場についての心臓検診の受診有無について」の保護者同意書を該当者全員分提出すること。

3. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカード(ビブス)を胸部・背部に確実につける。ただし、走高跳・棒高跳は胸・背いずれか一方でよい。走幅跳・三段跳は胸につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技の 800m 以上の種目に出場する競技者は、腰ナンバーカードを使用する。学校受付時にシールの腰ナンバーを受け取り、マジックでナンバーを太く記入して右の腰に貼り付ける。
- (3) 腰ナンバーカードは自宅まで持ち帰り、処分すること。

4. 招集について

- (1) 招集は、学校受付時の②「出場選手一覧」の提出に替える。
- (2) 選手は、競技場所において点呼を受ける。(競技場所での最終コールを受ける)
- (3) 競技場所集合時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

		<競技場所集合時刻>
トラック競技	5 分前
跳躍競技	20 分前
投てき競技	20 分前

- (4) 競技開始時刻に遅れた場合は棄権と見なし、原則、出場を認めない。

5. 競技場への入退場について

- ・競技場内への入場可能時間は午前の部は 8:00、午後の部は午前の部の選手退場完了後とする。
- ・両日とも、午前の部・午後の部で出場選手を完全に入れ替える。
- ・入退場の場所は南側の出入口のみとする。入場前、退場前は必ず手洗いをする。
- ・入場する者は、④「【大会前/提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を提出する。
- ・再入場する者は、自身のナンバーカードを係員に提示する。
- ・入場は競技に参加する者のみとする。応援のみは認めない。
- ・マネージャーについては 2 名まで、「半日参加」を厳守して参加することができる。マネージャーは入場時に撮影許可証を身に付け、退場時に返却する。
- ・非接触型体温計を使用し、選手の体温を測定する。当日の体温が 37.5 度を超える場合は、会場へ入場できない。

(1) トラック競技

- ① 競技開始時刻の 5 分前に点呼を受け、準備すること。
- ② スタート練習は、役員の指示に従って行うこと。

(2) フィールド競技

- ① 競技開始の 20 分前に点呼を受け、競技役員の指示に従って競技場内で練習を行うこと。
- ② 特に、投てき競技については危険をとまなうので勝手な行動はつつしむこと。

③ 退場は、跳躍および投てき競技役員の指示・誘導により行う。

6. 走路順・試技順について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の番号順とする。
- (2) 欠場者のレーンをあける。ただし、800m以上の競技については出発係の指示に従うこと。
- (3) 選手の変更は一切認めない。

7. 競技について

- (1) トラック競技はすべてタイムレース決勝とする。また、フィールド競技の長さを競う種目の試技は3回とする。
- (2) セパレートレーン使用の競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全のために、自分の割り当てられたレーン<曲走路>を走るものとする。
- (3) フィールド競技における競技開始前（招集所から入場後）練習は競技役員の指示によって行う。
- (4) 男子三段跳の踏切板は10mとする。女子三段跳の踏切板は7mと9mを併用する。ただし、審判長の判断で変更することもある。
- (5) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については以下のとおりとする。ただし、審判長の判断で変更もあり得る。

走高跳	1年男子	練習(1.40)	1.45	1.50	1.55	1.60	・・・	1.90	以後 3cm
	2・3年男子	練習(1.55・1.75)	1.60	1.65	1.70	1.75	・・・	1.85	以後 3cm
	1年女子	練習(1.15)	1.20	1.25	1.30	1.35	・・・	1.55	以後 3cm
	2・3年女子	練習(1.20・1.40)	1.25	1.30	1.35	1.40	・・・	1.55	以後 3cm
棒高跳	男子	練習(2.50・3.20・3.60)	2.60	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	以後 10cm
	女子	練習(1.80・2.40)	1.80	2.00	2.20	以後 10cm			

- (6) 競技中は器具を触った手で口や目を触らず、競技終了後入念な手洗いをする。
 - ・投てき種目については、各自の感染防止を徹底させ、終了後に手洗いを徹底させる。
 - ・走高跳、棒高跳の選手については、終了後の手洗いに加え、帰宅直後の入浴を勧める。

8. 上訴について

抗議にあたっては、競技が終了した時間を基準とし、30分以内で本部（総務員）に口頭で申し出る。

9. 競技場使用について

- (1) スパイクピンの長さは8ミリ以下とする。ただし、走高跳・やり投は12ミリ以下とする。
- (2) 競技に使用する器具はすべて競技場備え付けのものを使用する。ただし、「棒高跳用ポール、やり」については個人の物を使用することができる。「やり」は、競技開始60分前から45分前までに本部にて検査を受けること。
- (3) 集団応援は厳禁とする。個別の応援も避ける。
- (4) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

- (5) 指定された場所以外へのテント設営、立ち入りを禁止する。
- (6) 倉庫前、器具を取り出した後の倉庫内は待機場所としての使用を原則禁止する。
- (7) 競技者は管理棟内のトイレの使用を禁止する。スタンド下のトイレを使用する。
- (8) 競技終了後は速やかに場外へ出ること。

11. ウォーミングアップについて

- (1) 競技開始前のウォーミングアップは2日間とも8時から競技開始の15分前までとする。長距離が

1・2レーン、ハードルは外側2レーンを使用する。ハードルを使った走練習はトラック以外では禁止する。特に、ホームストレートと第4コーナー出口付近では接触の危険性が非常に高いので、係の指示に必ず従うこと。ジョギングに関してはトラックの外側で競技会準備の支障にならないように行うこととする。

(2) 競技中のバックストレートでのウォーミングアップは、下記の条件付きで認める。

①場 所：第1曲走路の中間地点から第2曲走路の中間地点。完全に停止すること。

②レーン：6・7・8

③種目間、組間の空白時間帯で準備に支障をきたさない時

④可能な種目の時間帯：100m、100mH、110mH、1500m

(3) 競技場以外での投てき物を用いる練習は一切禁止とする。

(4) 投てき競技における競技前・競技中の練習で使用できる器具はタオル等、人に危害を加えないものに限る。

(5) やりの突き刺し練習、砲丸の打ち付け練習は禁止する。

12. 電気計時・写真判定装置が作動しなかった場合の措置について

①短距離種目

判定可能なレース結果より上位8名を選出する。それに判定できなかった組の選手全員を加えて準決勝・決勝（タイムレース決勝方式）を行う。

②中・長距離種目

周回記録員の手動計時によるバックアップ計時を採用する。

13. 感染防止のための注意事項

(1) 大会1週間前から体調管理チェック表を記入し学校受付時に一覧を、競技場入場時にチェック表を提出する。※以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

・体調がよくない（例：発熱・咳・咽頭通などの症状がある場合）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

※提出する前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。

(2) 運動中以外はマスクを着用し、手洗い、洗顔を徹底する。

(3) 3密（密閉・密集・密接）回避行動を心掛ける。

(4) ウォーミングアップは個別に行う。

(5) 競技終了後および競技用具使用後は手洗い・洗顔・手指の消毒をする。

(6) 更衣室の滞在は短時間にし、シャワールームは使用を禁止する。

(7) 運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。

(8) ゴミは各自で必ず持ち帰る。

(9) フィールド競技の滑り止め（炭酸マグネシウム）はできるだけ各自で持参する。

(10) 競技者同士の会話は極力避け、移動中・待機中はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。

(11) 声を出しての応援、集団での応援を行わない。

(12) 競技者は自分の競技時間に合わせて来場し、自分の競技が終わったら速やかに帰宅する（競技場滞在時間をできるだけ短くする）。

(13) 競技者以外の応援者・観客の競技場内（スタンドを含む）への立ち入りを禁止する。ただしマネージャーは2名まで、「半日参加」を厳守して参加することができる。

(14) 各団体は芝生スタンドの指定された場所を使用し、密を避ける工夫をする。

(15) 参加者は、大会終了後2週間は健康チェックをする（⑤「【大会後／個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を活用する）。症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告する（症状には個人差があるため、強い賞状と思う場合はすぐ

に報告する)。また、保健所、医師会、診療所に相談後、必ず大会主催者（高体連陸上競技専門部尾張支部副委員長 藤田（一宮南高校 0586-76-1400））に報告する。

(16) 大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

14. その他

- (1) 氏名、所属等がプログラムの印刷と異なる場合は、早めに本部の庶務担当に申し出て訂正すること。
 - (2) 競技中に生じた事故については、応急処置はするが以後の責任は負わない。
 - (3) 表彰は、顧問にまとめて渡す。県の表彰については後日顧問へ渡す。
 - ・ 1年生大会：各種目の6位まで表彰する。(知多地区・尾張地区の記録上位者 ※)
 - ・ 2年生大会：各種目の尾張支部6位まで表彰する。
 - ・ 3年生大会：各種目の尾張支部6位まで表彰する。
：各種目の愛知県内6位まで表彰する。(愛知県の記録上位者 ※)
- ※ 記録は風の影響を考慮しない(追風参考記録も有効とする)
- (4) 顧問・監督・コーチは競技中にカメラ・ビデオの映像を選手にスタンドから見せることができる。ただし、競技場に持ち込むことはできない。もし、競技に支障をきたした場合は直ちに禁止とする。
 - (5) 記録の掲示は行わない。結果は高体連のHPで確認する。
 - (6) 午前と午後の入れ替えの際、更衣室・トイレ等を消毒する時間をつくる。
 - (7) 各校で消毒液と体温計を持参すること。
 - (8) 競技場のフェンスの外からの観戦も不可とする。